

■ 第4期中期目標・中期計画に係る自己点検・評価について

- 「国立大学法人の第3期中期目標期間終了時における組織及び業務全般の見直しについて（令和3年7月2日 文部科学大臣決定）」において、毎年度の業務実績に係る評価を廃止することに併せて、国立大学法人中期目標大綱及びそれに基づく各法人の中期目標・中期計画に基づいて徹底した自己点検・評価の実施及び公表が求められている。
- そのため、国立大学法人法第31条の2に規定する評価に向けて、令和4事業年度から自己点検・評価を行うこととした。

■ 令和4事業年度の自己点検・評価について

- 令和4事業年度の「目標達成のための数値目標等と措置」の進捗状況をもとに、自己点検・評価を行った結果、中期計画全38件中、「iii：達成水準を大きく上回っている」が11件、「ii：達成水準を満たしている」が27件、「i：達成水準を満たしていない」が0件となった。

項 目	進 捗
I - 1 社会との共創	iii：達成水準を大きく上回っている 3件
I - 2 教育	ii：達成水準を満たしている 7件
I - 3 研究	iii：達成水準を大きく上回っている 3件 ii：達成水準を満たしている 6件
I - 4 その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項	iii：達成水準を大きく上回っている 2件 ii：達成水準を満たしている 5件
II 業務運営の改善及び効率化に関する事項	iii：達成水準を大きく上回っている 2件 ii：達成水準を満たしている 5件
III 財務内容の改善に関する事項	iii：達成水準を大きく上回っている 1件 ii：達成水準を満たしている 1件
IV 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並び当該状況に係る情報の提供に関する事項	ii：達成水準を満たしている 2件
V その他業務運営に関する重要事項	ii：達成水準を満たしている 1件
合 計	iii：達成水準を大きく上回っている 11件 ii：達成水準を満たしている 27件 i：達成水準を満たしていない 0件

■ 「iii」と判断した事項の主な状況

1 社会との共創

- ◆ **地域の人材養成・定着**については、「プロジェクト件数」が、数値目標の5%以上増加に対して25%増加、「公開講座・ワークショップの実施件数」が数値目標の60件以上に対して94件、数値目標の項目を全て達成。【中期計画01】
- ◆ **地域連携体制の拡大・充実**については、「県内市町村との包括連携協定数」が、数値目標の2件に対して4件、「弘前大学共同研究トライアルファンド」が数値目標の5件に対して7件、数値目標の項目を全て達成。「青森サテライト設置」についても計画から前倒しで実施。【中期計画02】
- ◆ 弘前大学が開発した即日2時間で測定・結果通知・健康教育までを完成させるコンパクト型の健診プログラムパッケージ「QOL健診」は、DX化の仕組み構築とともに、QOL健診の実施件数を数値目標の9か所以上に対して41か所実施。【中期計画03】

2 研究

- ◆ **重点分野である物質科学、宇宙物理学、地球科学、分子生物学に関する基礎研究の推進**については、「研究業績数」が211件、第3期の年間水準175件/年と比して伸び率は20.6%と目標値の5%増加を大きく上回る結果。【中期計画11】
- ◆ **再生可能エネルギーに関する研究の推進**については、「研究業績数」が59件、第3期の年間水準24件/年と比して伸び率は146%と目標値の5%増加を大きく上回る結果。【中期計画16】
- ◆ **ジェンダーバランスの改善**については、「女性教員の在職比率」が数値目標の20%以上に対して20%、新たに副理事、附属図書館長、出版会編集長に女性教員を配置した結果「上位職に占める女性の割合」が第4期最終年度数値目標の15%以上に対して18.1%と第4期中の早期に目標値を達成。【中期計画19】

3 その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項

- ◆ 岩木健康増進プロジェクト健診で蓄積した超多項目ビッグデータをコアにした**健康・医療データサイエンスに係る「体制構築」**は、当初計画より前倒しで令和5年4月に健康・医療データサイエンス研究センターを設置。【中期計画21】
- ◆ **附属病院における安全かつ質の高い医療提供**に資する「インシデント報告を促すための取組」は、医師の報告数に対しインセンティブ経費を配分するなどした結果、報告件数が301件となり数値目標の134件以上に対して2倍以上に増加。【中期計画24】

4 業務運営の改善及び効率化に関する事項

- ◆ 附属図書館による「**貴重な歴史資料等のデジタル化**」は、第4期中期目標・中期計画の目標値を3年で達成できる見込み。【中期計画29】
- ◆ 研究設備の高度化、研究環境の向上、共用化に資する「**共用機器整備**」は、目標値2台の2倍の水準となる4台を整備。【中期計画30】

5 財務内容の改善に関する事項

- ◆ 「**大学基金における経常的寄附金の受入額増の取組**」は、過去寄附者への継続した募金活動、戦略的な広報活動及び基金活動の展開等を積極的に推進した結果、年間64,951千円の受入額（達成度186.9%）。【中期計画34】